

テーマ(研究課題):心臓外科手術施行患者の術前フレイルと術後せん妄発症の関連性の検討	
研究責任者	心臓リハビリテーション室・理学療法士 板垣 篤典
研究目的	近年、老年医学分野において高齢者のフレイルが注目されています。フレイルは高齢期に生理的予備能が低下することでストレスに対する脆弱性が増加し、障害、施設入所、死亡などに陥りやすい状態のことを指し、併存疾患や能力低下とは独立した概念と理解されています。 日本においては未報告の心臓外科手術患者の術前フレイルと術後せん妄を含む術後経過の関連性を検討します。
対象となる患者様	2015年6月から2016年9月までの期間に当院にて待機的に心臓血管外科手術を受けられた患者様で、年齢が65歳未満、歩行が自立していない方は除きます。
利用する患者情報	①患者背景(年齢、性別、身長、体重、喫煙歴、合併症、NYHA分類)、②血液所見(ヘモグロビン、アルブミン、CRP、白血球数、BNP、推定糸球体濾過率、Na)、③生理検査所見(心エコーデータ)、④手術情報(手術時間、術式、合併症、術後せん妄の有無)、⑤理学療法評価(Short physical performance battery、握力、膝伸展筋力、FI-J)、⑥術後経過(術後ICU滞在日数、自立歩行再獲得日、術後在院日数)
研究期間	2015年6月～2017年3月末
個人情報の取り扱い方法	個人情報保護法を遵守して研究を行います。 研究データは研究責任者のパソコン上で管理しますが、パスワードを掛け、研究責任者以外の閲覧はできないよう厳重に管理します。
個人情報の取り扱いについて異議がある場合の連絡先	(公財)心臓血管研究所付属病院 心臓リハビリテーション室・板垣 篤典 TEL:03-3408-2151(代)